

2025 年も 早いもので、残すところ半月足らずとなってしまいました。
今年も様々なことがあった 1 年でした。皆様は どんな歩みの年となられたでしょうか
ここへ来て、大きな地震が頻発しております。被災地の方々の想いは いかばかりかと
毎日 皆で祈っておりますが、千葉県内においても油断のできない状況のようですので、
整えるべき備えをしっかりと行いつつ 心を引き締めて過ごして参りたいと思います。

さて、先日のクリスマス保護者会には お忙しい中にも拘らず、お集まり頂きまして
ありがとうございました。まもなく訪れるクリスマスについて、皆様と共に 心を馳せ、
温かなひと時を 過ごすことが出来ました。子ども達も 楽しみに準備をしてきたので
当日は おもてなしができたことをとても喜んでいました。心より感謝申し上げます。
インフルエンザの急な流行により、前夜から当日の朝にかけてお休みが増えてしまい、
大変 心配しましたが、今週から 続々と快復！ 元気な笑顔がまた揃い始めているので
ほっとしています。引き続き 感染対策の徹底に努めながら年末まで過ごして参ります。

早いもので 16日のアドベント礼拝では、3本目のキャンドルに火が灯されました。
子ども達の瞳はキラキラと輝き、穏やかな笑顔で 静かに揺らぐ炎を見つめていました。
「どんどん明るくなる！」「あったかいね」「あと1本だね！」「楽しみすぎる～！」
子ども達は 4本のキャンドルの火が灯されると、つのぶえのクリスマスが来ることを
1日1日 お友達と一緒に わくわく！心躍らせながら、その時を心待ちにしています。
保護者会の中でもお話しさせて頂きましたが クリスマスを『待つ』というこの想いは
夕方の時間外保育の間、お家の方のお迎えを 今か今かと首を長くしている子ども達の
姿そのものだなあと思わされます。“大好きなお家の方がお迎えに来てくれること”
“ママやパパに会えること”を信じ、その喜びの瞬間を ひたすらに待ち続けています。
子ども達の心はママやパパとの“再会”に 絶対的な確信しかありません。そこには、
信じているからこそ生まれる、キラキラと輝く期待と 明るい希望で あふれています。
2025年前 イエス・キリスト（＝救い主）のお誕生を待っていた当時の人々の心も
きっとこんな風に、神様からの約束を信じ続け 神様への信頼に満ちていたと思います。
どんなことがあっても、どんなに長い時間がかかっても、耐え忍ぶことができたのは
ただ信じる心があったからです。人々の希望が 絶望に変わることはありませんでした。
間もなく 2025年目のクリスマスの訪れです！

つのぶえ保育園では 今年も、『イエス・キリスト（Christ）を 礼拝する（Mas）』
という クリスマスの真実（ほんとう）の意味を、心静かに分かち合う時を過ごします。
サンタクロースは 登場しません。

年長組の子ども達が “メッセンジャー” となって、想いを合わせ 祈りを込めて伝える
『ページェント（降誕劇）』を通して、聖書に記されている “世界で初めのクリスマス”
に心を重ねて頂けたら幸いです。そして、ひとりひとりに灯されていく キャンドルの
明るく暖かな炎が 優しい愛（ひかり）となってそれぞれの心に広がっていきますよう
世界中のすべての人の心に クリスマスの平和が注がれますよう 心からお祈りします。

「わたしは光として世に来ました。わたしを信じる者が、だれも闇の中に
とどまることのないようにするためです。（ヨハネ 3:16）」 （石田 記）